

国立病院機構南岡山医療センターにおいて、
2013年4月から2018年10月の間に皮下輸液を受けられた方へ

「慢性期病棟における神経難病症例への皮下輸液について」へのご協力をお願い

研究機関名 国立病院機構 南岡山医療センター
研究機関長 谷本 安
研究責任者 脳神経内科 麓 直浩
研究分担者 脳神経内科 浦井由光、原口俊、坂井研一、田邊康之

1. 研究の背景および目的

摂食嚥下障害がある高齢の患者さんを対象として在宅医療等で皮下輸液が行なわれています。当院の慢性期病棟でも、神経難病で入院中の方を含め皮下輸液が行なわれることがあります。本研究ではそれらについて分析し、予後や有用性を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

国立病院機構南岡山医療センターにおいて、2013年4月から2018年10月までの間に慢性期病棟に入院され、皮下輸液を受けられた方。

2) 研究期間

倫理審査委員会承認後～2020年3月31日

3) 研究に用いる情報の種類

カルテ情報（年齢、性別、治療歴等）等

4) 外部への試料・情報の提供

本研究では、他の研究を行う外部の機関への試料・情報の提供は行われません。

5) 試料・情報の保存

研究終了後、資料はシュレッダーにて破棄されます。また、情報については研究終了後廃棄します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名・生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

この研究に御質問等がありましたら下記の連絡先まで、お問い合わせ下さい。また、情報が研究に使用されることについて御了承いただけない場合には研究対象としませんので、2019年5月22日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

国立病院機構南岡山医療センター

担当者：管理課 建部 宏明

電話：086-482-1121（平日：8時45分～17時15分）

ファックス：086-482-3883